

## 講師からのメッセージ

安全・安心な社会の実現のためには、ものづくり技術として安全を実現するだけでなく、社会科学や人文科学も包含して、広く、統一的、包括的、領域横断的に考察する必要があります。このような新しい学問が安全学です。本講座では、安全とは何かなどの理念的な面、誤使用などの人間的な面、消費者の生活や原子力エネルギーの社会的な面など、安全学の立場から、安全の在り方について広く統一的に考えます。安全の基本は変わりませんが、今回の原子力発電の事故のように安全は常に時代と共に考え続ける必要があります。本講座では、時代の流れに対応しながら、根本から安全を考えることに致します。

(注)本講座は、理工学研究科新領域創造専攻の科目である安全学特論1を一般に公開するものです。

## 講座のポイント

- (1) 安全を根本から考えます。
- (2) 広い観点から安全を考えます。
- (3) 各分野の安全の専門家から話が聞けます。
- (4) 一般の人にも専門家にも学生にも適した講座です。

## 講義概要

研修概要						
会 場	リバティタワー教室					
曜 日	土曜日	時 間	13:00~16:10	回 数	16回(8日間)	
受講料	一般:10,000円/法人会員:8,000円			定 員	50名	ポイント ★★★★★
教 材	①安全学入門～安全の確立から安心へ～(研成社) ※講座初回にお渡しします。 ②レジュメ資料					

日程	講義内容	講師
1 4/14 (土)	安全とは何か 安全とは何か、リスクとは何か等の安全の哲学な面の紹介と共に、安全学という新しい安全に関する学問の全体像を紹介する。	向殿
2		
3 4/21 (土)	消費者の安全・産業現場の安全 「誤使用」を防ぐ製品設計、ヒューマンエラーを防ぐ産業現場の安全マネジメント等、安全に関連したヒューマンファクターについて詳しく紹介する。製品の「誤使用」や、「使いやすい」製品設計等の安全に関連したヒューマンファクターについて詳しく紹介をする。	小松原
4		
5 5/19 (土)	世界における安全 グローバル化した現代で、我が国だけで安全を考えることはもはや出来ない。世界の中の安全学として、世界的な観点からの安全の在り方についての現状と将来について考察する。	増田
6		
7 6/2 (土)	地域社会における安全 身近な地域における災害と犯罪の事前予防に焦点を当て、まちづくりを通じた安全と安心の確保について考察する。	山本
8		
9 6/16 (土)	社会制度と安全 安全の規則や安全の社会制度の在り方を考えることを通して、安全と責任の関係について考察する。	杉本
10		

日 程		講義内容	講 師
11	6/30 (土)	<b>原子力の安全</b> 原子力の安全確保の考え方と実例また事故の例を紹介し、原子力発電と核燃料サイクルのしくみおよび放射線の基本的な知識を分かりやすく概説しながら、原子力の安全とその社会的受容性について考える。	森
12			
13	7/14 (土)	<b>環境と安全</b> 材料や物質を通して環境の安全を考えると共に、リサイクルを通して安全を創ることを考える。	菊池
14			
15	7/28 (土)	<b>リスクコミュニケーションと安全</b> リスクコミュニケーションの基礎について紹介すると共に、安全におけるリスクコミュニケーションの重要性と、リスクコミュニケーションの実践等についても考察する。	北野
16			

(懇親会)なお、最終日の7月28日には、授業終了後、講師と受講生全員参加で懇親会を開催し、フリーディスカッションを行う予定である。

## 講義形式 ▶ レクチャー

### 担当講師 (詳細は巻末をご覧ください。)

なかいとの まさお 向殿 政男	コーディネータ 明治大学理工学部情報科学科教授 (兼)理工学研究科新領域創造専攻安全学系
こまつばら あきのり 小松原 明哲	早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科教授
ますだ まさる 増田 優	お茶の水女子大学教授
やまもと としや 山本 俊哉	明治大学理工学部建築学科教授 (兼)理工学研究科新領域創造専攻安全学系
すぎもと のぼる 杉本 旭	明治大学理工学部機械工学科教授 (兼)理工学研究科新領域創造専攻安全学系
もり みちつぐ 森 治嗣	明治大学理工学部客員教授
きくち まさふみ 菊池 雅史	明治大学理工学部建築学科教授 (兼)理工学研究科新領域創造専攻安全学系
きたの まさる 北野 大	明治大学理工学部応用化学科教授 (兼)理工学研究科新領域創造専攻安全学系